☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　2017

神戸新聞　平成３０年３月８日（木）

「桃太郎」で学ぶ交渉術

氷上西高で関大生らが指導

「鬼と交流があるので交渉役はできる」「飛べるので偵察はできる」などとキャラクターの設定を確認し合う高校生たち＝氷上西高

利害調整に役立つ「交渉術」を学ぶ出前授業が7日、丹波市青垣町佐治の氷上西高であった。関西大の山本敏幸教授らの指導で、同校の1年生約40人が「桃太郎」の登場キャラとなって、鬼退治戦略を検討。好戦派と平和派の対立など、交渉の難しさを体感した。

近くの関西大佐治スタジオとの交流が縁で、毎年開催されている。犬、猿、キジ、桃太郎の4班に分かれた生徒たちは、それぞれに設定された生い立ちや年齢などが記されたプロフィルに基づき、4者とも満足できる関係構築を目指して鬼退治の作戦会議に臨んだ。

交渉では「宝も取り返したい」「食料だけで十分」「鬼の1人が友人なので戦いたくない」などと意見を交換。鬼退治への熱意を調整し「鬼とは交渉優先で非戦」「まずは武力行使」などと、さまざまな結論を導き出したが、全員が満足する結果になったとした生徒は半数以下にとどまった。

もう少し交渉時間が必要だったという赤木昂雅さん(16)は「意外と話が合わない。ニュースの国際情勢が一筋縄でいかない理由も分かった気がした」と話していた。（中西幸大）